淡路島ぬーどるのルーツ
「約180年、淡路島に受け継がれてきた淡路手延素麺」

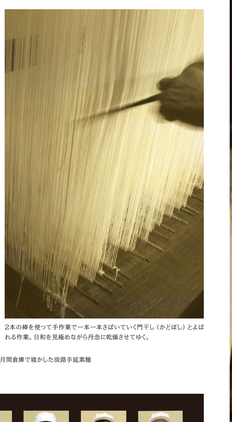
歴史は天保年間漁師の伊勢参り

淡路手延べ麺の歴史は、天保年間（1830～1843）まで遡る。福良（南あわじ市）の漁師、渡七平が伊勢詣での帰途、そうめん発祥の地といわれる奈良・三輪の里で農家の手延べ麺づくりに遭遇。約2年間、その地にとどまり技を習得した七平は、手延べ麺の秘伝を故郷へ持ち帰った。『淡路手延べ麺』のはじまりである。

福良の町が気候風土に恵まれ、手延べ麺づくりに適していたこともあって明治の中頃、漁師の冬場の副業として広まり、最盛期の大正初めには約140世帯、年間約4万箱を製造するまでに発展しました。しかし、今では南あわじ市内の[※1]2業者（全国手延べ麺生産量の約0.5%以下）のみとなってしまった。

減少の理由として、熟練した職人が育たないことがひとつに上げられる。機械化が進み大量生産される時代においてもなお製造工程のほとんどを手作業で行っているからだ。高齢とはなった職人はいう。「おれの目が頼く衰しかつくらん」。

しかし、生産量が極端少であることが、かえって一部の間で、『幻の手延べ麺』ときさやかれることになる。その品質の高さゆえ、関西の高級料亭や高級料理旅館でなければなかなか味わうことができない。[※2]最高級手延べ麺として、いまなお玄人筋から高い評価を得ているのだ。


2本の棒を使って手作業で一本一本さばいていく門干し（かどぼし）とよばれる作業。日和を見極めながら月台に低積させて゛゛。

そして再び新たな息吹を

約180年もの歳月、旅々と受け継がれてきた手延べ麺づくり。最高級品『御陵糸』としても高く、[※3]サンフランシスコ万博で金賞を受賞した伝統製品『淡路手延べ麺』が、こうして再び、島の料理人の新たな息吹を得て『淡路島ぬーどる』として現れた。

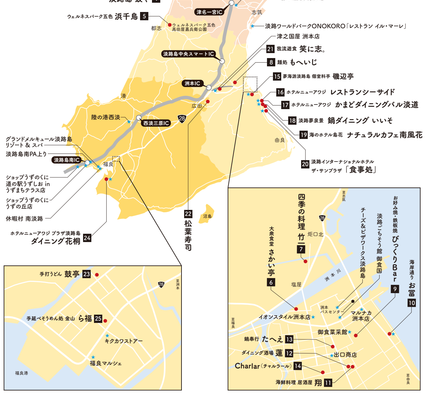
さあ一度、その味をお試しあれ。

※1.令和3年7月現在の調べ　※2.古物（ひねもの）と言われる約1年6ヶ月間倉庫で寝かした淡路手延素麺
※3.サンフランシスコ万博金賞受賞は1915年（大正4年）

発行：御食国プロジェクト実行委員会
〒656-0027 兵庫県洲本市港2-26 洲本市健康福祉館1F
（一般社団法人 淡路島観光協会内）
TEL.0799-22-0742
御食国プロジェクト公式ホームページ

店舗＆販売店マップ

● 淡路島ぬーどる料理提供店舗
★ 淡路島ぬーどる販売店


1 お食事処 浜ちどり
2 さばえ
3 ニコマート
4 カフェ あおい
淡路島 鮫や
5 ウェルネスパーク五色 浜千鳥
6 淡路島牛ぬーどる
7 甘辛さぜぬーどる
8 かき揚げ釜揚げぬーどる
9 淡路島ぬーどる 塩焼きそば
10 ホルモン鍋屋さんのつけ麺
11 鱧すきぬーどる
12 魚介塩ぬーどる
13 ハモすき鍋+ぬーどる
14 淡路牛のボロネーゼ
15 あわじ牛すきぬーどる御膳
16 淡路島ぬーどる ブイヤベース風スープ仕立てセット
17 バル特選 海鮮淡路島ぬーどる
18 鯛かまぬーどる
19 島の恵みの鯛かま 塩ぬーどる
20 淡路島ぬーどる 鶏の黄身揚げのせ
21 つけ汁三昧
22 淡牛ぬーどる
23 カレーつけ麺
24 淡路島すき鍋ぬーどる
25 淡路牛ぬーどる
グランドニューコ淡路
ハイウェイオアシス物産館
のじまスコーラ
あわじ花さじき
ウェルネスパーク五色 浜千鳥
ONOKORO「レストラン イル・マーレ」
津之国屋 洲本店
笑に恵。
もへいじ
ローソン洲本港町店
ファミリーマート洲本港町店
喫茶 花広場
レストランシーサイド
かまどダイニング バル淡道
鯛ダイニング いいそ
ナチュラルカフェ南風花
道の駅 福良
ファミリーマート福良店
福良観光汽船
福良港
福良港PA上り
福良港PA下り
ファミリーマート洲本上内膳店
ファミリーマート洲本塩屋店
ファミリーマート洲本由良店
ファミリーマート洲本五色店
ファミリーマート洲本五色鮎原店
ファミリーマート洲本五色都志店
ファミリーマート洲本五色中店
ファミリーマート洲本五色久留麻店
ファミリーマート洲本五色鳥飼店
ファミリーマート洲本五色上堂店
ファミリーマート洲本五色下堂店
ファミリーマート洲本五色成相店
ファミリーマート洲本五色成相上店
ファミリーマート洲本五色成相下店
ファミリーマート洲本五色成相中店
ファミリーマート洲本五色成相西店
ファミリーマート洲本五色成相東店
ファミリーマート洲本五色成相南店
ファミリーマート洲本五色成相北店
ファミリーマート洲本五色成相中央